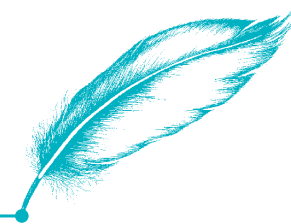


## Ⅲ. 肺血栓塞栓症における凝固・線溶機能

### 2. 急性肺塞栓症の NOAC を使った新しい治療



三重大学大学院循環器・腎臓内科学客員教授 /  
村瀬病院副院長 / 肺塞栓・静脈血栓センター長 中村 真潮 (Nakamura, Mashio)

#### THROMBOSIS and Circulation

##### § 論文のポイント

- [1] 急性肺塞栓症の治療の第1選択は抗凝固療法である。
- [2] 従来の治療は未分画ヘパリンとワルファリンで行われていたが、モニタリングが必要であり日本人エビデンスもない治療であった。
- [3] わが国でも非経口 Xa 阻害薬であるフォンダパリヌクスと経口 Xa 阻害薬であるエドキサバンが急性肺塞栓症の治療に使用できるようになった。
- [4] 非ビタミン K 阻害経口抗凝固薬、すなわちエドキサバンは、ワルファリンと比較して有意に出血性合併症の発生率が少ない薬剤である。
- [5] エドキサバンにより、入院期間の短縮や安全な長期再発予防など急性肺塞栓症の治療がよりよく行われ、患者の予後改善に貢献するものと期待される。

##### § キーワード

エドキサバン / 抗凝固療法 / 非ビタミン K 阻害経口抗凝固薬 / フォンダパリヌクス / Xa 阻害薬